

異色！楽器は関係ない！
講師と共に「音楽」を学ぶ室内楽のセミナー



くげぬま
鵜沼音楽
アカデミー

— SINCE 2023 —

留学中、三十を迎え将来何がしたいかを考えたとき、学校を作ること为目标にする様になりました。日本では学べなかったことを知り、横のつながりを失った現代の文化芸術に疑問を持ち、自信を持って自己を表現しにくい世の中を目の当たりにした時、

— 今ある教育機関の先に、より充実した人生を過ごすために有用な学びを提供する—
そんな学校があったら素敵だなと考えたのです。そしてついに、四十を目前に大好きな地元・鵜沼、レスプリ・フランスのご協力を得て、そのスタートになるかもしれない小さなアカデミーを始めることができました。もっともっと専門的な座学や、他分野の方から学ぶ時間も作りたと思っていますが、記念すべき第一回はたくさんの善意のおかげで、素晴らしい若者たちと、思った通り楽しく、かけがえのない時間を過ごすことができました。

音楽が大好き、文化を守りたい、若い人たちに輝いてほしい。そんな方々に応援していただけたら幸いです。

鵜沼音楽アカデミー 講師 白井圭



アカデミーの様子

※第1回アカデミーは2023年2月に開催されました。

学歴問わず、楽器ごとの人数制限も設けず、録音のみの審査で約40名の応募から11名が選抜されました。今回は18歳から28歳までのピアノ・フルート・クラリネット・ヴァイオリン・ヴィオラを弾く魅力的な若者たち！チェロは新日本フィル首席の長谷川彰子さんにお手伝いをお願いしました。



どのグループも講師と一緒に演奏！朝10時から夜8時まで4日間のリハーサルの中で、一緒に最善のアプローチを探します。



リハーサル見学者の声

「もう最高に楽しかった！
明日もまた来ることになります。」

「あんなに全てさらけ出して
教えちゃっていいんですか!？」

期間中3日間リハーサルを公開し、多様な可能性の中から作曲家の意図を汲み取り、音楽にしていく「舞台裏」を見学できるという珍しい試みに、多くの方がいらっしやいました。

インタビューより

—— どのようなアカデミーですか？

(白井) 僕はヴァイオリンが専門だけど、ヴァイオリンのレッスンをしたいわけではないんです。アンサンブルをすることによって気づくこと、音楽の見方、価値をお互いに共有することを大事にしたいと思っています。なので、弦楽器だけでなくピアノ、管楽器、打楽器でもOKです。楽器の弾き方を勉強するのではなく「音楽的に新しい体験をする」「自分たちで作った生の音楽を共有する」という場にしたい。「一緒に考えて作る」ということに興味がある人にぜひ来てもらいたいです。そしてここで身につけたことが、その先の栄養にもなるような体験にできたら嬉しいですね。自分の考えを言葉できちんと説明できて、それを演奏で表現できる力を持つことはとても重要です。

—— このアカデミーの特徴を教えてください

基本的には個人での参加としています。すでに活動しているグループでの参加は要相談ですが、僕が入って演奏できる編成になるかどうかのポイントです。すでにあるグループの演奏を僕が客観的に聴いて指導するということはしません。あくまでも「一緒に演奏する」ということを前提にしています。

—— ご自身の地元ということですが？

2日目以降のリハーサルを公開します。地元の方も観に来ていただいて、若い音楽家たちが何をしているのかを知ってほしいです。それが徐々に地域に浸透していったら応援していただけたらありがたいですね。受講生がホームステイできるようになるとか。奨学金制度ができるとか。地元の方が若い音楽家を応援してくださる、そして彼らは音楽でそれに応える、そういうサイクルができれば理想的です。

アカデミー受講生の声



ヴァイオリン二重奏から
ピアノ三重奏、弦楽四重奏
にクラリネット五重奏まで。
6つのアンサンブルが、
それぞれ3回のリハーサルを
行い、最終日のコンサート
に臨みました。

「曲の中に散りばめられたヒントや宝物をみんなで
探していくような感覚があり、毎日が発見の連続で
とても楽しかったです。」(vn. 大学4年生)

「大好きな音楽をみっちり詰め込んだ5日間は生涯の
宝物になると思います。」(va. 大学1年生)

「圭先生から溢れる音、数えきれない
アイデアは、私にとって音楽の捉え方が
変わる大きなきっかけとなりました。」
(pf. 大学院生)



昼食と夕食はスタッフの手作り料理！
食事の時間も大切な学びの時間…
それが鶴沼音楽アカデミースタイル！



——最後にメッセージをお願いします。

「レッスンを受けにくる」という姿勢ではなく、「一緒に音楽を作る」。能動的な姿勢で臨んでもらいたいです。そして、「より良い表現の仕方」をともに考えたい。作品の中に入って行って、いろいろな実験をするイメージです。そして、自分が弾いて終わりではなくて、他にどのようなアプローチの可能性があるのか他者の演奏を聴いて考えたり、みんなでテーマを決めて話し合うような時間も持ちたいと思っています。音楽に興味があって意欲的な若い人と一緒に有意義な時間を過ごせたらいいなと思います。

2022年9月27日掲載
ぶらあぼオンラインより一部抜粋

講師：白井圭 しらい けい

トリニダード・トバゴ生まれ、藤沢市で育つ。東京藝術大学を経てウィーン国立音楽大学で学ぶ。徳永二男、大谷康子、田中千香士、堀正文、ゴールドベルク山根美代子、ヨハネス・マイスルなどに師事。日本音楽コンクール第2位及び増沢賞、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位及び聴衆賞、ハイドン国際室内楽コンクール第1位及び聴衆賞などを受賞。ウィーン楽友協会でのリサイタルや、チェコフィルなどと共演。2020年4月より2023年3月までNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターを務める。田中千香士レポリューションアンサンブル音楽監督。トリオ・アコード、ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ、シュテファン・ツヴァイク・トリオのメンバー。2023年より鶴沼音楽アカデミーを主宰。

